

伝統文化で繋ぐ豊かなふるさとづくり (平成29年度認定)



松竹梅・鶴亀

名護市嘉陽区は本島北部の東海岸に位置する農業を基盤産業とする集落であり、集落の南側は太平洋に面し、集落後方には田畑を挟んで標高80メートル程度の丘陵地帯に囲まれ、自然豊かでのどかな環境を有している。

昭和50年頃までは稲作とサトウキビが集落の主な産業であり、特に稲作は本島北部では羽地に次ぐ豊かなターブックを有し、ユイマールでお互いに助け合いながら生活を営んできた地域である。現在は夏季はオクラ、冬季はカボチャを中心に、葉野菜、水稻、マコモ等の農産物が生産されている。

農耕社会で培った伝統文化や行事が大切に継承されており、綱引きや豊年祭等の年間行事を区民一丸となって実施している。近年ではボランティア生の受け入れを行っており、地区外との交流を通して地域の活性化が図られている。

このように、伝統文化の継承や地区外との交流を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



綱引き



アブシバレー



ウシデーク



シーシ(獅子)



区民視察研修



二十日水撫でいー